

首都圏本部

上野駅開業140周年記念イベントを開催

7月28日、上野駅は開業140周年を迎えました。これまでの感謝の気持ちを込めて、記念セレモニーや歴史写真展、駅社員発案の記念弁当の販売など、さまざまな記念イベントを実施しました。また、多くのお客さまが見守る中、上野営業統括センターの齊藤所長（上野駅長）の合図で「上野駅・高崎線開業140周年記念号」が高崎駅へ向けて発車しました。



横浜支社

南武線尻手～浜川崎間でE127系の報道公開を開催

8月4日、鎌倉車両センター 中原支所にて、南武線尻手～浜川崎間の運転を担うE127系の報道公開を開催しました。今回投入したE127系は、新潟エリアで使用されていた車両で、転用改造を行って9月13日より順次、営業運転を開始しています。車体帯の色は川崎エリアの社員がデザインし、地域の皆さまに愛された同線区のラインカラーを踏襲し、変わらず愛される路線にしたいという思いが込められています。



八王子支社

中央快速線等グリーン車の報道公開・試乗会を実施

10月18日、豊田車両センターで中央快速線等グリーン車車両の報道公開および試乗会を実施しました。報道公開では、外観・内観の公開だけでなく、東京駅での2分折返しを実現するための座席の自動回転の実演を行いました。報道機関の皆さまの関心も高く、テレビ局6社・新聞社4社・雑誌など7社の計17社が取材に訪れました。



大宮支社

さいたま運転区社員が廃車前最後の651系車両の撮影会を企画

10月15日、さいたま運転区社員が企画した651系車両撮影会を開催しました。過去に他職場のイベント運営に参加した際に学んだことを活かし、今度は自ら開催することで、そのノウハウを職場に共有できると考え、企画しました。撮影会のほかにも、貸切プランをオークション形式で販売して好評をいただくとともに、増収に寄与することもできました。



高崎支社

「デジタルよろず相談所CAFÉ」を岸田首相が視察

8月1～5日、前橋駅でマイナンバーカードの利用方法やJRE POINTなどのサービスをご案内する「デジタルよろず相談所CAFÉ」を開設し、3日には岸田首相や河野デジタル担当大臣などの方々が視察に訪れました。GunMaaS登録やデジタル認証技術の体験を通じて、支社が率先して取組むDXを活用した持続可能な地域づくりを大いにPRし、取組みへの理解を深めていただきました。



水戸支社

茨城デスティネーションキャンペーンを開催

10月1日より、茨城デスティネーションキャンペーン（茨城DC）がスタートし、当日は、水戸駅にてオープニングセレモニーやミニイベントを開催。スペシャルゲストの登壇や、茨城DC特別列車のお出迎えなどを実施し、キャンペーンの開幕を盛り上げました。12月31日までの期間中は「体験王国いばらき」をキャッチコピー、「想像超えいばらき」をサブコピーに、「アウトドア・食・新たな旅のスタイル」をテーマとした数多くの企画を通じて、茨城の魅力を発信しました。



千葉支社

地域・観光型MaaS「EeeE銚子」がスタート

8月3日、当支社初となる地域・観光型MaaS「EeeE銚子」がスタートしました。プロモーションを通じて、銚子電鉄1日乗車券「Beica」をはじめとするさまざまなサービスがスマートフォン1つで完結する、というメリットを周知していきます。また、訪れるお客さまが銚子エリアを満喫し、気分を上げて「いい調子」になっていただけよう、今後も地域と連携してサービス拡充に取り組んでいきます。



長野支社

地域と連携して飯山線サイクルトレインを定期列車で運行

飯山市、信州いよいよ観光局と連携して、「GO! GO! 千曲川 飯山線サイクルトレインプラン」を、11月5日まで実施しました。飯山駅1階の信越自然郷アクティビティセンターで受付を行い自転車で出発、帰路は森宮野原～北飯山間の対象列車（定期列車）にそのまま自転車を積み込み、飯山へ戻ってくる日帰り旅行プランです。地域主導の伴走型地域づくりを推進し、収益力向上と地域活性化をめざして取り組んでいきます。



東北本部

仙台駅に新たなフォトスポットを設置

仙台駅舎の屋上（東側）に設置されていた駅名標の一部を、仙台建築設備技術センター社員の発意で、仙台駅西口ペDESTリアンデッキ上に移設しました。モニュメントは10月14日の「鉄道の日」に開催された仙台駅でのイベントに合わせて公開し、フォトスポットとして仙台駅を訪れたお客さまにご利用いただいています。



盛岡支社

盛岡駅で新たな観光列車「ひなび」を一般公開

10月14日の「鉄道の日」に、盛岡～花巻～釜石間を走る新しい観光列車「ひなび（陽旅）」の一般公開を盛岡駅で行いました。新しい列車をひと目見ようと、約1,100人のお客さまが訪れ、「ひなび」をバックに記念撮影などを楽しんでいただきました。12月23日のデビュー以後も「ひなび」の周知拡大と利用促進、機運醸成に取り組んでいきます。



秋田支社

地元高校生が運営するジェラート店「Stella」が横手駅にオープン

8月5日、一般社団法人 Sail on Japanと横手・大曲統括センターが連携して企画した、地元の高校生が商品企画・製造・販売・広告・宣伝を行うジェラート店「Stella」が横手駅にオープンしました。メニューは、横手市産や大曲農業高校が育てた枝豆やすいかななどの野菜・果物を使った全10種類のオリジナル商品を取りそろえています。事業体験プログラムを通じたキャリア形成のための学びの場を提供すると同時に、地元の魅力を向上させて地域活性化を図りました。



新潟支社

JRE Local Hub 燕三条が「グッドデザイン・ベスト100」を受賞

10月5日に発表された「2023年度 グッドデザイン賞」にて、当社と(株)ドッツアンドラインズ、三条市が「グッドデザイン・ベスト100」を受賞しました。この賞は、グッドデザイン賞受賞の中で、審査員により高い評価を得たものに贈られ、燕三条駅の地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 燕三条」におけるビジネスマッチングなどの取り組みが、産業振興や雇用創出に貢献している点について評価されたものです。



まち歩きツアーイベントで 「東京駅の工事と歴史を巡るツアー」を開催

2018年より毎年開催されている、大手町・丸の内・有楽町地区のまち歩きツアーイベント「OPEN CITY MARUNOUCHI」において、9月7日に「東京駅の工事と歴史を巡るツアー」を開催しました。東京駅を歩きながら、駅誕生から今日に至るまでの改良工事の歴史や工事のこだわり、エピソードなどについて、参加されたお客さまに解説しました。



「鉄道フェスティバル in 東北」に出展

「鉄道の日」記念イベントとして、東北地区「鉄道の日」実行委員会が10月1日に開催した「鉄道フェスティバル in 東北」において、東北建設プロジェクトマネジメントオフィス・電気システムインテグレーションオフィスが合同でブースを出展しました。ブースでは、建設工事部門公式YouTubeチャンネルの広報活動や、踏切支障報知装置のボタン押下体験、LED発車標に希望文字を掲示しての記念撮影などを企画・実施し、来場された多くの皆さまに楽しんでいただきました。



「めかぱく」をルミネアグリマルシェ新宿に出店

7月28日、当社が運営する「JREMファーム新潟」産パクチャー「めかぱく」を、ルミネアグリマルシェ新宿に出店して販売を行いました。「めかぱく」は、当社の機械技術を活かした水耕栽培プラントで育てたパクチャーで、年間通して変わらない一定の品質とマイルドな風味、鮮度の落ちにくさが特徴です。当日の試食では「おいしい」とお客さまにも好評で、150袋を販売し「めかぱく」の魅力をPRしました。



TRAINIARTではやぶさ&こまちの 「かたぬきバウム」を発売

10月14日、「鉄道の日」を記念しTRAINIARTで、はやぶさ・こまちの「かたぬきバウム」の販売を開始しました。丁寧に焼き重ねられた平焼きのバウムクーヘンに、はやぶさとこまちのプリントとカットを施しました。はやぶさはプレーン生地、こまちはイチゴ味で、お子さまから大人まで楽しめるフレーバーです。カットラインに沿って型ぬきをしながら、「おいしく・楽しく」お召し上がりいただけます。

*販売店舗：「TRAINIART」鉄道博物館店、TOKYOグランスタ店



菊池拓紀シェフがフランスレストランウィーク のフォーカスシェフに選出

当社が運営するホテルメトロポリタン 盛岡 ニューウイング2階の、フランス料理「モン・フレーブ」料理長 菊池拓紀シェフが、国内最大級のフランス料理イベント「フランス レストランウィーク 2023」のフォーカスシェフに選出されました。伝統の味・技・想いを継承し、人とのつながりを大切にしている菊池シェフ。これからも自身が創り上げるひと皿を通して地元食材の魅力を積極的に発信し、さらなる進化をめざしていきます。



新日本フィルハーモニー交響楽団の ミニコンサートを開催

9月18日、錦糸町駅の駅ビル「テルミナ」で、新日本フィルハーモニー交響楽団によるミニコンサートを開催しました。例年クリスマス時期に実施していましたが、今回は秋を迎えるタイミングで実施。秋をイメージした曲や、お子さまにも喜んでいただけるようにスタジオジブリのアニメーション映画などの曲が演奏されました。当日は開演前から満席となり、多くのお客さまにお楽しみいただきました。

